



# やまばと

2021年7月発行 山鳩同窓会会報 第35号

山鳩同窓会事務局

〒990-0034

山形市東原町2-3-26 東原幼稚園内

TEL: 023-622-4789

FAX: 023-622-4790

HP <http://higasi.holy.jp/>

ブログ <http://higashiharakids.blog.fc2.com/>

何事でも、自分にしてもらいたいことは、

ほかの人にもそのようにしなさい。

聖書



つきぐみ（年長）



ひよこぐみ（満3歳児）



ほしぐみ（年中）



ももぐみ（年少）

## 特 集

「さあ、共に生きよう！」

長年、阿部嘉久さんには同窓会長、富塚起佐子さんには書記をしていただきましたが、昨年度をもって、退任されることになりました。本当に長い期間、同窓会にご尽力いただき、ありがとうございました。お二人から皆様へご挨拶をいただきました。尚、新同窓会長として、今年度から粟野桂子さんが就任いたしました。よろしくお願ひいたします。

## ご挨拶

お懐かしい山鳩同窓会の皆様、保護者の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？山形はすっかり夏らしくなり、暑さと爽やかな風が街を包んでいます。

この度私は、長年務めさせていただいた同窓会会長を粟野桂子先生にバトンタッチいたしました。先代の奈良崎千代先生の後を引き継いで、皆様のご支援を受けながら頑張っておりましたが、さすがに年齢には勝てません。ここ数年は同窓会の集まりに出席することもままならず、大変心苦しく思っていました。

春の同窓会入会式、夏の同窓会報作成、秋のホームカミングデー（現：ファミリーフェローシップ）、冬のクリスマス会…どれを思い返しても、とても懐かしい思い出です。家庭を持たれた同窓生や保護者の方がお子さんやお孫さんを東原幼稚園に入園させてくださった、保育者を目指して東原幼稚園で保育実習をしている、実際に保育の現場で働いているなど、嬉しいニュースもたくさんお聞きし、どんなに喜んだことでしょう！！

これからは、粟野会長が率いてくださる山鳩同窓会の活躍を、背後からお祈りして応援しております。皆様、健康に留意してそれぞれの立場で頑張って下さい。



（前同窓会長 阿部 嘉久）

## 「山鳩同窓会と共に」

私が山鳩同窓会の役員から書記になり、30年という月日が流れました。役員会の度に、今は亡き前会長の奈良崎先生や顧問の陶山先生の聖書のお話を聞くのが楽しみで、一緒に歌った讃美歌もなつかしく思い出されます。

会報も手書き原稿から始まり、書面郵送も終えて、今では東原幼稚園のホームページで閲覧出来るようになりました。ホームカミングデーもファミリーフェローシップと名前を変えましたが、名誉会長の阿部先生に手ほどきを受けたわためだけは、今でもしっかりと存在しています。

時代と共に移り行く中で、奉仕の精神だけは着実に受け継がれてきたと信じています。必要とされる喜びはかけがえのない宝物であり、私に居場所を与えて下さった事が何よりも嬉しかったです。長い間温かく見守って下さった阿部先生をはじめ、粟野先生、多くの先生方に深く感謝しております。

（前書記 富塚 起佐子）

## 【新同窓会長よりご挨拶】

同窓会の皆さん、お元気ですか？この春新しいスタートを切って環境が変わった皆さん、新しい環境に慣れましたか？私たちがどこに導かれようとイエスさまはいつも共にいて守り導いてくださいますから、幼稚園時代の暗唱聖句を思い出して祈ってみましょう。不思議と力が湧いたり、やってみよう前向きになれたりするものです。私も会員の皆さんのために祈っています。

この年から、私は同窓会の会長に推薦され、先輩先生である前会長の阿部嘉久名誉会長からバトンを受け取りました。これまで、幼稚園園長時代には副会長として同窓会に関わらせていただきながら、活動の中心は前年度踏襲でした。今後しばらくの期間は、会の活動と運営も含めて見直しを行っていくことを考えています。ご意見や課題がありましたら、会員の皆さんはじめ役員さんとともに前向きに検討していくことを願っています。率直なご意見をお寄せくださいますように心からお待ち申し上げます。

この度退かれました名誉会長阿部嘉久先生並びに書記の富塚起佐子様のこれまでの長い期間にわたる尊い御労に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

同窓会の皆様、微力ながら会の更なる充実のため務めさせていただきますので宜しくお願ひ申し上げます。

（新同窓会長 栗野 桂子）

## 【2021 年度の同窓会行事】

★ファミリーフェローシップ…6月26日（土）9：00～13：00

\*小学1年生～6年生まで、60名以上の卒園生が参加し、  
楽しいひとときとなりました。

★山鳩同窓会クリスマス祝会…12月4日（土）10：00～受付

★2021年度同窓会入会式…2022年3月19日（土）

# 2020年度卒園生 20名が幼稚園から羽ばたきました！

幼稚園卒園おめでとう 「大きくなったら、なにになりたい？」

あべ かなで

巨人の野球選手

おおぐし こうま

うるとらまん

おがわ とわ

かんがえちゅう

おだしま みなと

きゅうりょうかせぐ  
しごと

かしわぐら えいみ

どーなつやさん

かどわき にこ

くるまにのりたい

きむら はるか

あいどる

くつざわ りょう

ほいくしさん

くどう りゅう

けいさつ

さいとう ふみと

くるまをつくるひと

さかい がく

にんじや

しらた けんと

ひとりぐらしするひと

しんどう たいぎ

さっかーせんしゅ

すずき たいせい

スネオみたいな  
かみがたになりたい

すどう ひろと

おにいちゃんと  
キャンピングカーですむ

たかべ まひろ

ポテトやさん

たんの ふうが

しんかんせんの  
運転手

ちだ まこと

バスケのせんしゅ

はしもと しおり

ふかさわ はるみ

アイドル

(卒園文集「おもいで」より転記)



# <特集> さあ、共に生きよう！

さあ、共に生きよう  
主は この時代の  
苦しみと悩みを  
担って下さる

(讃美歌21 419番1節より)

コロナ禍でたいへんな世界を生きている私たち。しかし、主（神）は今日も私たちに“さあ、共に生きよう”と語りかけて下さっています。

近年、SDGs（持続可能な開発目標）という言葉をよく耳にします。私たち人間が安心して共に生きるために、また私たちの美しい地球をこれから先も大切に守るために、私たちにできることは何でしょう。私たちがこれまで取り組んできたことやこれから取り組んでみたいことなど、身近なことからできることをみなさんと一緒に分かち合っていきたいと思います。

「エコデーについて」

阿部 みのり（2019年度卒）

わたしの学校では、わか竹デーというエコデーがあります。エコデーは牛乳パックやペットボトルキャップなどを回収しています。わたしは、エコデーがある日には毎回ペットボトルキャップを持って行っています。お母さんにキャップを袋に入れてもらい ランドセルも重いので通学が少し大変だけど必ず持って行くことにしています。どうしてかというと、先生から外国の子供たちはワクチンを打ってもらえないと聞きました。ペットボトルキャップはお金になり、そのお金でワクチンが買えて子供たちがワクチンを打てると聞いたからです。まさか ペットボトルキャップがお金になるなんてびっくりしました。そして、そのワクチンは色々な働きがあり病気にならないためのものと聞いたので、それで生きるか決まるなら協力しないといけないと思ったからです。同じくらいのお友達が大変な思いをしているなら何か助けになればいいなと思っています。なのでわたしはエコデーに毎回参加しています。



## 「小さな力を大きな力に」 小林 いちか（2015年度卒）

今、世界中はコロナウイルスの影響により大変な社会となっています。そこで、こんな時代だからこそみんなで協力し、より良い世界をつくるため、がんばっていかなければならぬと思います。

最近 SDGs という言葉をよく耳にします。SDGs とは、2016 年から 2030 年までの 15 年間で達成するために掲げた、日本と世界が決めた目標です。その中でも私が一番注目しているのは、「すべての人に健康と福祉を」です。世界中でコロナウイルス患者が増えしていく一方で、すべての人々にワクチンが届くのかとても心配です。これはコロナワクチンに限ったことではなく、今でも世界中で様々なワクチンがないために命を落とす子ども達がたくさんいます。また、すべての人達が安心して治療を受けられる、そんな世界をみんなで協力してつくっていけたらと思います。

私は将来看護師になるのが夢です。小さな力かもしれません、少しでも困っている誰かを助けられたらうれしいです。そんな一人ひとりの小さな力や思いやりが合わさり、大きな力になればきっとみんなが安心して生きられる世界になるはずです。

## 「SDGsについて僕ができること」 渡邊 敬太（2013年度卒）

僕は、SDGs という言葉を中学校の社会の授業で知り、その中の7つ目にあたる「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」という目標に注目しました。エネルギーは、僕も冷蔵庫やゲーム機など電気として利用していたからです。電気の問題については知っていて、今まで「節電をして下さい」と言っているのを聞いてはいましたが、自分一人がやったところでどうにもならないと考えていました。しかし、外国では自由に電気を使えないことや地球温暖化につながるということをきいて、少しずつ罪悪感を感じるようになりました。今では、世界全体が協力しなければいけないほど深刻な問題と化しているからです。

こんなに大変なことは解決することが難しいですが、出来ないことではないと思います。その理由として、例えばフロンガスによるオゾン層破壊の問題です。僕が生まれる前から冷蔵庫やエアコンに使われていましたが、オゾンホールができてしまったことから、世界で協力して解決の方向へと向かっています。これは地球温暖化と同じような地球規模の環境問題を解決した実例といえると思います。つまり、世界全体で協力したのです。

このように、皆で協力することが大切だと思います。最初に書いた僕のような考えではなく、積極的に行動するのです。SDGs にはそんな考えが必要です。しかし、この考えには一人一人の行動が不可欠です。だからこれからは僕も、使わない電気を消したり、出来るだけ電気を使う量を減らしたりして、この目標を達成した一員になれるように頑張りたいと思います。

「今僕に出来ること」

國井 太貴（2011年度卒）

### SDGs (Sustainable Development Goals) とは？

聞いたことがあります、具体的な内容がわからないので調べてみました。持続可能な開発目標の略称で、193か国の国連加盟国が2030年までに地球環境をより良いものにする為に掲げた17の目標で、その目標を達成するために具体的な169のターゲットで構成されています。

この内容を調べてみて今僕の生活の中で出来ることは、生活ごみの分別だと思いました。僕は普段学校には水筒にいれたお茶を持参していますが、部活でスポーツをしているので、ペットボトルのスポーツ飲料を利用します。利用した後はラベルをはがし、ペットボトルを洗いキップと分別してまとめてからリサイクルに出すという事を続けています。小さなことではありますが、その積み重ねが未来の地球のために重要なことだと思います。僕たちが住むこの地球で世界中のみんなが安心して暮らせるよう、これから高校、大学と多くのことを学び、環境や社会活動に協力出来る、そんな自分になれるよう努力していきたいと思います。

「日常生活で取り組んでいること」 三澤 高行（1970年度卒）

私は、日本が、ちょうど高度経済成長真っただ中に生まれたので、物質主義の世の中で暮らしてきました。だから、ものに囲まれて生活する事こそが幼い頃の私にとっての幸せだと思っていました。昨今、SDGsが小学校の授業でも取り上げられ、ようやく世の中が地球環境について考え始め出しました。正直、もう遅すぎたのかもしれません。ただ、今からでも、私達に出来ることが少しでもあれば、事態は好転していくかもしれません。1年前に、妻が召されてから、生活が一転しました。家事をするようになってから生活の無駄がよく見えるようになった気がします。買い物は、週2回まとめて買うようにし、洗剤などのストックも最小限にしました。家の中の不用品を整理し、服も整理し、本当に気に入った10着位でローテーションしています。子供は、そうは行きませんがフランス人の様にうまく着回しができれば良いなと思っていますが、中々難しいです。ごみの分別をきちんとし、油は流さない様にしています。庭に、ハーブを植え、それが自然の虫除けになってくれています。コロナ禍で、観光客が減ったおかげで、海がきれいになったといいます。ただ、世界中の海で、サンゴ礁がどんどん消えていっています。魚たちが住む場所が無くなっています。マイクロプラスチックやPM2.5で海や空が汚れています。それは、いつか私達に還って来るものです。神様は、私たちに必要なものを用意してくれています。だから、そんなに背伸びをしなければ日々の暮らしは、回って行くんだろうと思います。

6月の創立記念日に、卒園生の小嶋寛之さんからおたよりをお寄せいただきました。



## 第71回創立記念日に寄せて

小嶋 寛之（1975年度卒）

創立71周年おめでとうございます。

一歳違いの長女と次女が入園することとなり、私は父親として40数年ぶりに東原幼稚園を訪れました。園舎も教会も立て替えられ当時とは違いますが、変わらぬ園歌のメロディを耳にしたとたん、懐かしい思い出に包まれるような気持ちになりました。庭でお友達と遊んだこと、名取公園まで頑張って歩いたこと、寸劇“ぞうのたまごのたまごやき”の練習をしたこと、楽器の演奏を披露したことなど、楽しかった思い出がたくさん残っています。そういうシーンにはいつも周りにやさしい先生方がいらっしゃって、やさしく声をかけてくださいます。今、自分の子どもたちが元気に通う姿を見ると、まるでかつての自分たちを眺めているようです。私も、一つ上の姉と共に東原幼稚園に通いました。

いつの間にこんなに上手に絵を描いたり、折り紙を折ったりできるようになったのだろうと、たびたび驚かされます。幼稚園での一日一日が、ふたりの健やかな成長を促していると実感しています。園長先生はじめ先生の皆様に対し、感謝の言葉しかありません。

親として願うのは、ありがとうの言葉を忘れない、心やさしい子に育って欲しいということです。おともだちと、はんぶんこできるかな。かしてと言われたら、いいよと返事しているかな。仲良く一緒に絵本読めるかな。ちょっとすねても、すぐ機嫌直っているかな。多くの皆様に見守っていただきながら、日々すくすくと成長するこどもたちの姿を見るのが、楽しみな毎日です。

# 先生方から ~さあ共に生きよう！~



理事長 鳥居 完次

コロナ禍の今、私たちは日々うめいています。しかし、主なる神は(ご自身の方が)、「ことばにならぬいうめきをもって、とりなしていてくださる」と聖書にあります。その意味に思いを留めさせられます。

園長 高内 健

「共に生きる」というテーマは、東原幼稚園がずっと大事にしてきたことである。園歌の3番に「おむねのバッヂはしろいはと せかいのこどもと手をつなぎ へいわなせかいをつくるのが わたくしたちのつとめなの わたくしたちは ひがしはらようちえん」とある。これからもこの園歌を日常生活の中で大事にして、子どもと向き合っていきたい。

副園長・ほしぐみ 中村 圭子

ガソリンの節約を兼ねて、天気がよければ毎日自転車で通勤しています。爽快だし、よい運動にもなります。17の目標のうち「質の高い教育をみんなに」は、毎日の保育の実践で貢献できているといいなと思っています。

主任・つきぐみ 武田 ゆき

私は日ごろ、食べ物を大切にすることを心がけています。幼稚園の給食でも食べられる分にしていただいているが、食事の時は食べられる量を考えて、盛り付けます。生ごみはゴミにせず、畑のたい肥にしています。

つきぐみ 鈴木 菜海

持続可能な開発目標の中の「質の高い教育をみんなに」という項目を保育に当てはめると、子どもも保育者も気持ちを共有し信頼し合いながら楽しく過ごす保育をすることだと考えています。そのことを意識して保育をしています。

ほしぐみ 川原子 美和

出掛けずとも欲しいものが手に入る便利な今の時代、私の身の回りは物で溢れかえっています。これから先、本当に必要なものを選択する力を身に付けることが大切だと感じています。なるべくシンプルな暮らしを心掛けていきたいです。

はと・ほしぐみ 早坂 文子

私は、食材を余らせない、使わなくなった物を処分する、利用できるものでしまいこんでしまっているものを把握し、使用する等を心掛けています。身の周りのものをスリム化し、身軽に生活したいと思っています。神様は必要を与え養って下さる方である事を信じ、また、神様からまかされているものを管理できるようになっていきたいです。

ももぐみ 鈴木 瑠美

職場においては、つけっぱなしの電気を消して歩く私。節電や節水は、積もり積もれば大きな貢献につながるはずです。マイバッグを持ち歩く、ごみを小さくして捨てる、多すぎる買い物はしないなど、身近なことから心がけていきたいです。

ももぐみ 進藤 紗香

私はSDGsの“質の高い教育をみんなに”という目標の為に、とてもささいなことですが、子どもたちを抱きしめ、大好きだと伝えることを意識して取り組んでおります。たくさん愛を感じて、愛を次に伝えて行ける大人になってほしいと願っています。

ももぐみ 斎藤 真理子

子どもたちが生涯にわたって健康的に生活していくように食育に関わってきました。当園は野菜を育て、観察、収穫等、様々な食育カリキュラムがあります。これからも自然の恵み豊かな山形の食材でできることを探していく、そして近い将来「手作りの昼食とおやつ」を園内で提供できる日が来ることを願っています。

ひよこぐみ 工藤 藍

プラスチック削減を生活の中で意識し、買い物の際にはマイバッグを持ち、袋を貰わない。出掛ける際にはマイボトルを持ち歩き、ペットボトルゴミを出さないように心がける。身近で出来ることから始め徹底していきたいと思います。

ひよこぐみ・エンジェル 千葉 節子

気仙沼出身の夫と「おかえりモネ」を見るのが日課となっています。東日本大震災直後から、いろんな形で気仙沼復興支援活動の応援をしてきましたが、今私にできることは、気仙沼の美味しいものを買って食べること。気仙沼の美味しいものを皆さんに宣伝することです。

はと・ひよこぐみ 大類 美紀

世界中でパンデミックがおき、予防法が開発され、励まし励まされ、差別し差別され、感謝し感謝され・・・、ただ生きているだけでも共に生きている事に気付き、主によって生かされている事を覚える。

エンジェル・つき補助 加藤 ひろ子

「動物駆除」の言葉を聞くと、心が痛みます。私たちが、動物の里山を奪っていないかな? こどもたちの未来の自然が豊かであるように、「共存」の知恵を出し合い、何ができるか考えたいです。

事務 佐藤 泉

数年前の夏、広島旅行に行った。恥ずかしながら初めての訪問でその衝撃は凄まじかった。毎年思うが、5月にドイツが降伏し、多くの人が犠牲となった沖縄では6月に本島占拠。さらに8月にもなって原爆が投下されていることを。今年の夏も世界平和を祈るしかない。

育児アドバイザー 粟野 桂子

フードロスを出さないことは地球環境を守る取り組みの一つです。ほし組さんが収穫した大根の葉で作った“ふりかけ”的ことを思い出しながら、日々台所でフードロスに挑戦しています。楽しいアイディアを募集中です。

発達支援相談員 佐竹 真次

呼吸をするのに必要な酸素を増やすために、畑に作物や花木を植えます。二酸化炭素を少なくするために、できるだけ運動して体を温め、火や電気を節約します。食物と体力が得られます。すぐにできるSDGsです。

英語講師 マルティーナ パンツァーニ

世界を助けるためにプラスチックをあきらめましょう！今の海に入ったプラスチックは多すぎます。海の魚や他の生き物が危険な状況です。

（マルティーナさんは、今年度から幼稚園の英語講師として、週1回、子どもたちとふれあいの時を持っています。）

技能技師 遠藤 栄一

今の日本で食料の自給率が低い中で、毎日、廃棄される食物の多さに驚きます。農家で育った私はスーパーなどの古くなった野菜が安く売られているのを見るとかわいそうになつてつい買ってしまいます。

技能技師 林谷 幸憲

私は家族一緒に移動するときや重い物を持ったり買い物をしたりするときは自動車を使用しますが、一人で通勤や行動するときは、徒歩、自転車、バイク及び公共交通機関を利用します。脱炭素社会に対応して、ガソリン消費を減らす行動をしています。

早朝預かり 菅野 さほり

私は、夏場、エアコンを使う時は、設定温度を28度にして扇風機をつけて生活しています。これからも無理なく自分でできるようなことを少しずつ増やしていくたらと思っています。

はと 阿部 明美

生ゴミは腐葉土用にしたり紙類は封筒やメモ帳にしたりして再利用しています。園生活では、子どもが失敗した折り紙を別な型に作ってみせて直ぐに捨てない事を伝えています。

バス添乗 本間 真紀子

私は、毎日使う冷蔵庫なので、あまり物を詰めすぎないようにしたり、熱いものは冷まして入れたり、季節に応じた庫内温度に設定したりする等、小さな事ですが、エコに少しでも繋がればと思い、日々心掛けております。

バス添乗 阿部 知佳子

我が家家のエコ活動として思い浮かぶ事は、買い物にはエコバックを持参する、冷暖房の設定温度、入浴は続けて済ませる etc ですが、エコ活動を意識せず、「家族全員で同じ部屋（リビング）で過ごす。」これは何気なくしていた事で改めて考えてみると、エコ活動になっていました。家族団らんを取りながら、自然とエコ活動。こんな無理のないエコ活動をもっと増やしていくべきだと思います。

バス添乗 横山 朋子

私は、外出する時、待機電力を減らすために、電化製品の主電源をオフにし、コンセントからプラグを抜いて出掛けます。用事はできるだけ自転車や徒歩で済ませ、買い物は、地産地消をするよう心がけています。



## ※事務局よりご案内※

新型コロナウイルスの影響でこれまでと違う状況の中になりますが、会員の皆様におかれましてはお元気でご活躍のことと存じます。

### 【会報告】

☆新会員 20名 会員総数3,796名

☆訃報 三澤牧子さん(1986年度卒)

☆ご連絡先が変更になった方は、お手数ですが事務局までお知らせください。

☆すずきとうい鈴木透生さん(2005年度卒)が、水球で、東京オリンピックの代表に選ばれました。

ご活躍をお祈りいたします。

### 【役員交代】

☆6年間お世話になりました。一緒に楽しく参加させていただきました。

ありがとうございました。 金丸美和子さん、砂田真美子さん

☆今年から役員をさせていただくことになりました。6年間よろしくお願ひします。

須藤美香さん、斎藤優子さん

### 【お知らせ】

☆ご連絡先が変更になった方はお手数ですが、事務局までお知らせください。

### 【編集後記】

ホームページ(HP)での会報発行が5年目となりました。

コロナ禍で今年もいろいろと制限のある中でしたが、原稿をお寄せくださった皆様や先生方のご協力により、無事会報を発行できますことを心より感謝申し上げます。

スマホやパソコンから気軽にアクセスして、時間のあるときにいつでもご覧頂けると幸いであります。懐かしい同窓生の仲間や幼稚園の先生方の様子に触れ、東原幼稚園を楽しく思い出せますよう願っております。

ご意見ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどございましたら、

事務局 [k.higasi@ceres.ocn.ne.jp](mailto:k.higasi@ceres.ocn.ne.jp)までお寄せください。皆様のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

★会報担当者★伊勢・笠原・須藤・斎藤・高内

